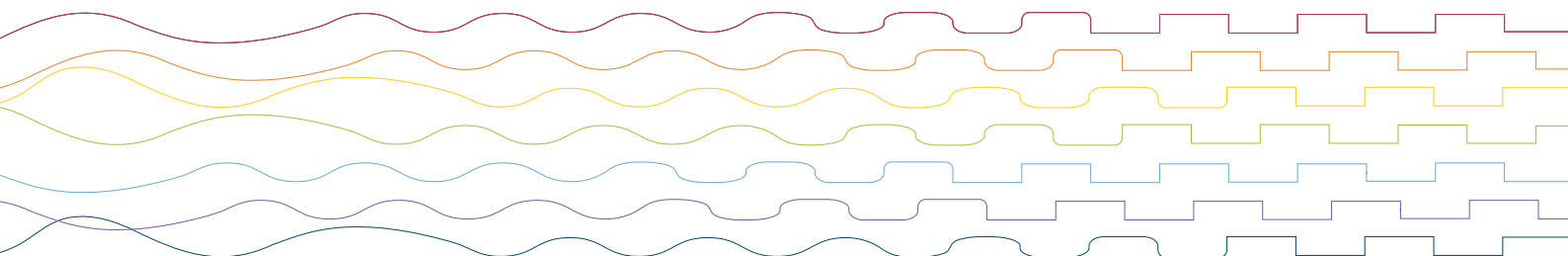


CSR Report 2011

2010 ~ 2011 Communication on Progress



コンテンツ

- 03 トップメッセージ
- 04 シナノケンシのCSR取り組み全体図
- 06 組織統治
- 08 コミュニティへの参画
- 09 製品での社会貢献（消費者課題）
- 10 人権
- 11 環境
- 12 労働慣行
- 13 公正な事業慣行

CSR 方針

私たちは「シナノケンシの目標」に基づき、誠実な行動と公正な判断で、事業活動を通して社会に貢献し、信頼されるグローバル企業を目指します。

代表取締役社長 金子元昭
(2011年3月11日 制定)

報告対象期間

2010年9月～2011年8月

報告書発行日

2012年1月30日

トップメッセージ

シナノケンシ株式会社では、1984年に制定された「社員心得」を通して「誠実・公正」「信頼」を、社員の行動基準として浸透させてきました。2010年には「社員心得」を改訂しましたが、「誠実・公正」「信頼」については、今後も伝え続けるべき大切な行動と意識として位置づけております。

一方、シナノケンシグループとしてグローバル化が進展する中で、この「社員心得」をもとに、より積極的にCSRおよびコンプライアンス体制をグローバルに推進することが求められています。

こうした背景のもと、社会から求められる企業の役割と責任を果たすため、「国連グローバル・コンパクト」に加盟いたしました。この10原則を踏まえて、人権などの国際的な規範を遵守し、地球環境に配慮した事業運営を進め、これからもいっそうグローバル社会の要請に応えて参ります。

シナノケンシ株式会社 代表取締役社長

金子 元 昭



国連グローバル・コンパクトとは

2000年に国連で制定された、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わるCSRの基本原則10項目(=国連GC10原則)に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

基本原則10項目

- | | | |
|--------|------|--------------------------------|
| 【人権】 | 原則1 | : 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。 |
| | 原則2 | : 自らが人権侵害に加担しないよう確保する。 |
| 【労働基準】 | 原則3 | : 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。 |
| | 原則4 | : あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。 |
| | 原則5 | : 児童労働の実効的な廃止を支持する。 |
| 【環境】 | 原則6 | : 雇用と職業における差別の撤廃を支持する。 |
| | 原則7 | : 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。 |
| | 原則8 | : 環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。 |
| | 原則9 | : 環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。 |
| 【腐敗防止】 | 原則10 | : 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。 |



シナノケンシのCSR取り組み全体図

コミュニティへの参画

省エネパトロール隊参加

出前授業

絹糸紡績資料館

会社見学

地域清掃ボランティア

献血

長野県環境保全協会活動

子育て応援Webページ（地元NPO法人と共同）

消費者課題

個人情報保護規程

省エネ製品の開発・販売

設計基準・製品安全基準

広告宣伝規程

ISO9001/TS16949認証取得^{*2}

プレクストーク・補聴器の開発・販売

組織

シナノケンシの目標

シナノケンシグループ
行動規範

人権

社員相談室開設

くるみんマーク認定^{*1}
(2008年)

障がい者雇用の促進

労働組合の結成

育児休業制度・介護休業制度

NPO法人ぱれっとと連携 ステキなパパ講座

ファミリーフレンドリー企業受賞
(2008年)

セクシュアルハラスメントに関する規定
(1999年～)



CSR方針に基づき、各項目についてCSR活動を推進しています。

公正な事業慣行

個人情報管理規程
公益通報者保護規程
貿易関連法令遵守規程
調達基本方針
下請法の遵守及び教育
職務発明取扱規程
知的財産管理規程
情報セキュリティ対策規程
コンプライアンス推進活動

労働慣行

安全衛生委員会設置
職場別安全競争
安全衛生パトロール
メンタルヘルス講習
ヒヤリハット提案活動
作業環境測定
リスクアセスメント活動
ワークライフバランス委員会

環境

ISO14001^{*3}の認証取得
ゼロエミッション工場
環境標語の募集
CO₂削減
社内植樹活動
RoHS・REACH対応等有害物質削減活動
社員食堂（地産地消メニュー）
オゾン層破壊物質の非使用



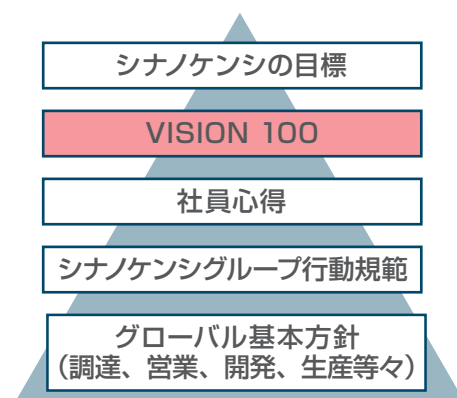
統治

社員心得

CSR方針

組織統治

シナノケンシでは、経営の基本方針として「シナノケンシの目標」と、その目標を達成するために5項目の「社員心得」、37項目の「シナノケンシグループ行動規範」を定めシナノケンシグループとして共有しています。これらの経営理念をもとにCSRをさらに進化させていきたいと考えています。



経営理念体系図



シナノケンシグループ拠点地図

シナノケンシの目標

- ・ シナノケンシは、常に顧客にとってかけがえのない魅力に満ちた会社であることを目標とします。
- ・ シナノケンシの真の資産は人であり、社員にとっての会社の魅力を大きくすることを目標とします。
- ・ シナノケンシは、人とのつながりを大切にし、事業活動を通じて未来を動かす会社であることを目標とします。

(2010年9月改訂)

社員心得

- ・ 誠実な行動と公正な判断で、信頼を高めましょう。
- ・ お客様の喜びは自分の喜び。自ら考え、自ら行動しましょう。
- ・ 「技」を磨き、世界で成長しましょう。
- ・ 変化を先取りし、素早く行動しましょう。
- ・ 常に全社的な視点とチームワークを忘れず、執念で勝利をつかみましょう。

(2010年9月改訂)

コミュニティへの参画

絹糸紡績資料館

地域の産業と文化を伝える「産業遺産」として認定されている絹糸紡績資料館は、社内の保存資料のほか、日本絹紡協会の保存資料を全て引継ぎ、絹糸紡績の歴史を、紡機・写真・製品・映像・パネルで紹介しています。ノコギリ屋根と呼ばれ自然採光を取り入れた、かつての紡績工場を改装した資料館では、明治・大正・昭和の時代に生きた産業人の心意気や、糸の町として栄えた地域の歴史を伝える貴重な写真・映像・資料の収蔵と展示があります。本社構内にある同館には、信州のシルク文化や歴史を紹介するスポットのひとつとして、県内外の各地から多くの来場者が訪れています。



絹糸紡績資料館

出前授業

次世代育成の一環として、2006年から社員による地元の工業高校への「出前授業」を行っています。モノづくりの楽しさを伝える体験型プログラムとして定着しており、地域社会への貢献を意識した活動を着実に進めています。



出前授業の様子

信州省エネパトロール隊への参画

2005年から長野県は、(社)長野県環境保全協会に委託し「信州省エネパトロール隊」として、地球温暖化防止のために省エネルギー診断を行なうボランティア活動を開始しました。すでに230を超える団体の診断を行い、企業の枠を超えて蓄積されたノウハウを相互に提供しあって改善提案を重ねています。これまで受診した企業から高い評価を受け、地球環境大賞(環境地域貢献賞)、省エネ大賞(省エネルギー長官賞)などを受賞しています。当社も設立当初から「信州省エネパトロール隊」の一員として30件を超える診断に参加し、現在は東信分隊長としての役割を担って活動しています。



信州省エネパトロール隊の様子

製品での社会貢献（消費者課題）

デジタル録音図書読書機 「PLEXTALK（プレクストーク）」

厚生省の呼びかけに応じて視覚障がい者向けCD読書機の開発に取り組んだ当社と、初期DAISYを試作したスウェーデン国立点字録音図書館が、1995年に国際的な共同研究開発を始めました。こうして、デジタル録音図書の国際標準DAISY (Digital Accessible Information SYstem) が生まれました。それから十数年にわたって、世界の視覚障がい者や識字障がい者の皆様のQOL (Quality of Life) 向上をサポートする取り組みとして、ユーザビリティを追求したDAISY読書機「PLEXTALK」の開発・提供を続けています。



デージー・プレクストーク パートナーミーティングの様子



デジタル録音図書読書機「PLEXTALK」

補聴器 「美聴」

当社は、軽度～中等度難聴の方に適した聞こえを補う機器として、「やさしい、かるい、ききやすい」をコンセプトとした補聴器「美聴」を通して、おもに高齢者の皆様のQOL (Quality of Life) 向上に貢献しています。デジタル式では味わえない「自然な音のきこえ」とするために、アナログ回路へのこだわりを貫きました。加齢による難聴の中でも特に聞き取りにくい音域をリアルタイムに強調して人の声を明瞭に聞こえやすくする「くっきりボイス」機能や、耳穴の位置で音を拾う「耳もとマイク」で心地良い音をお届けします。



補聴器「美聴」

人権

子育て支援

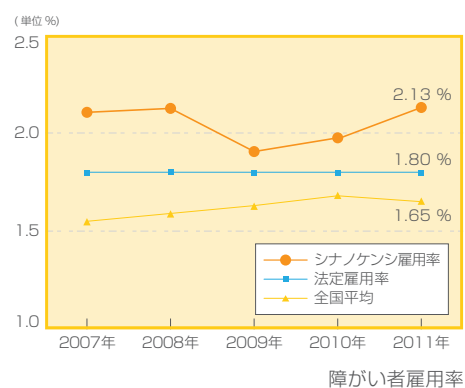
子育て世代の社員の仕事と育児の両立を支援するため育児休業制度、短時間勤務制度、在宅勤務制度の充実を図っています。2008年にはファミリーフレンドリー企業部門で、厚生労働大臣優良賞を受賞しました。また地元のNPO法人（子育て応援団ぱれっと）と連携し、2006年より地域社会の「子育て中の父親」を対象に「ステキなパパになりたい人のための講座」という子育て講座を実施しています。



ステキなパパになりたい人のための講座での野外活動

障がい者雇用の促進

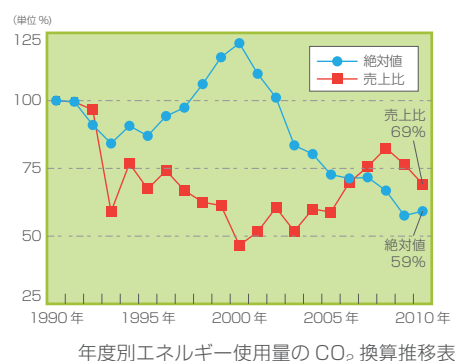
障がい者の高い定着率の実現も企業の社会的責任であると位置づける当社は、障がい者にとって働きやすい職場環境づくりを目指し、障がい者の雇用促進に努めています。2011年9月1日時点で障がい者雇用率は2.13%となっています。



環境

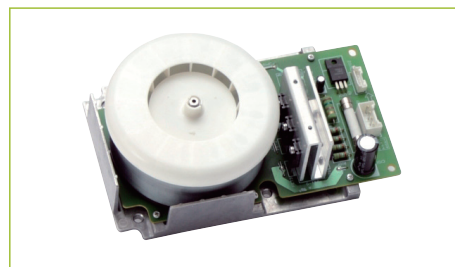
CO₂ 排出量削減 ―地球温暖化防止に向けて―

地球温暖化防止対策として当社も事業所からのCO₂ 排出量削減に積極的に取り組んでいます。設備（ハード）面では、ガスボイラーの導入、半田槽の断熱、インバーターの設置、屋根の塗装色変更等の対策を実施。運用（ソフト）面では、コンプレッサーの圧力管理、空調の温度管理、パソコンの省エネルギー設定使用等の対策を実施しています。



高効率小型モータ（省電力）―当社製品による環境負荷低減へ―

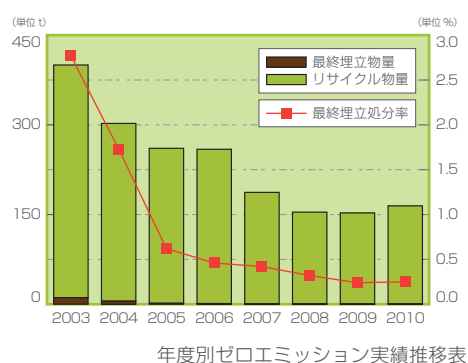
当社工場で使用しているエネルギーよりも、当社の製品を使っただけで段階でのエネルギー使用量の総量の方が圧倒的に多くなっています。モータによる消費電力削減を指標とし、製品の高効率化と小型化に取り組んでいます。



DC ブラシレスモータ

ゼロエミッション工場 ―単純焼却・埋め立て処理の「ゼロ」を目指して―

1998年7月に環境の国際規格ISO14001を認証取得して以来、工場からの排出物の削減と排出物のリサイクル化の推進を行ってきました。排出物の徹底した分別、切削液の再利用、リサイクル技術を持った処理業者様との協働により、排出物の99.75%（2010年度実績）をリサイクルしています。



労働慣行

リスクアセスメント・安全パトロール

当社では安全衛生方針の基本理念を「安全と健康は全てに優先します」としています。当社では、ヒヤリ・ハット事例から展開するリスクアセスメントや、全社安全衛生委員会メンバーによる毎月の巡回安全パトロールを実施し、安全の確保に当たっています。また、職長向けRST研修（労働省セーフティ&ヘルス・トレーニング）を十数年にわたって継続して、管理監督者の安全衛生意識とスキルの向上に努めています。



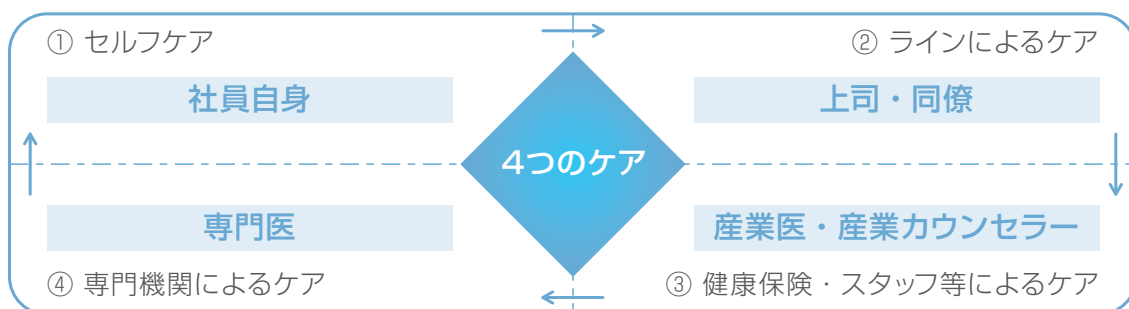
RST 研修の様子

メンタルヘルスへの取り組み

当社ではメンタルヘルスにいち早く取り組んでおり、現在もワークライフバランスの実現に向けて様々な対策を展開しています。例えば、管理監督者を対象に実施するメンタルヘルス研修、日常的に実施している産業カウンセラーによる「社員相談室」などを通して、予防と早期発見に努めています。また、最近では産業医による面談も充実させています。

メンタルヘルス4つのケア

心の健康は「4つのケア」でチェック



公正な事業慣行

不正防止のために

企業倫理に関する自らの行動・周囲の行為、職場の状況など、各従業員が疑問に思うことについての相談や通報を受け付ける「通報窓口」を設置し、問題の事前防止と早期発見に努めています。また「公益通報者保護および管理規程」を制定し、相談者や通報者に対して不利益を与えることを禁止する旨を明記しており、これによって相談者や通報者を保護し、リスク発見の機会を拡大しています。

